

●● 社長に聞く 当期の業績と中期経営計画

Q.1 2017年3月期の業績について教えてください。

放電加工機・射出成形機の販売台数が前期を上回る結果となりましたが、為替レートが前期に比べ円高に推移した影響により、売上高は618億12百万円となりました。営業利益は研究開発費や海外子会社での販管費の増加等もあり、減益となりました。

Q.2 市場環境について教えてください。

国内は、政府の補助金の影響もあり、老朽化設備の更新需要を中心に、堅調な推移が見込まれます。欧米は地政学リスクもあり、先行きに不透明感がありますが、自動車、航空宇宙関連の需要は底堅く、引き続き堅調に推移する見通しです。中華圏は、人件費の高騰を背景に自動化への対応や高精度機のニーズが高まることが予想され、受注は高水準で継続する見通しです。



代表取締役社長
金子 雄二

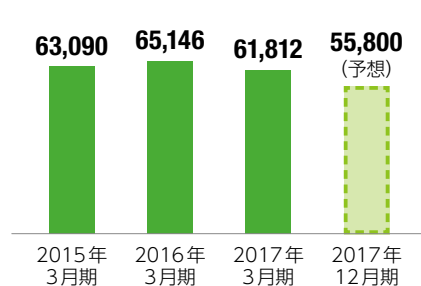
Q.3 2017年12月期の業績見通しについて教えてください。

想定為替レートを前期に比べ円高に見込んでいるものの、昨年リリースした新製品群の販売増加を計画しているほか、放電加工機、射出成形機などの既存事業の伸長を

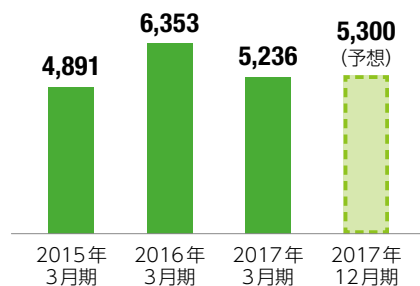
見込んでおります。また、量産効果により営業利益率の改善を図ってまいります。2017年12月期は、売上高558億円、営業利益53億円を計画しております。尚、2017年12月期は決算期変更の移行期につき、9か月間の変則決算になります。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

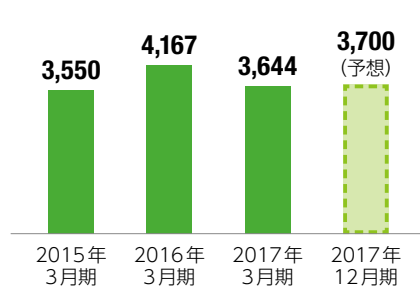
売上高



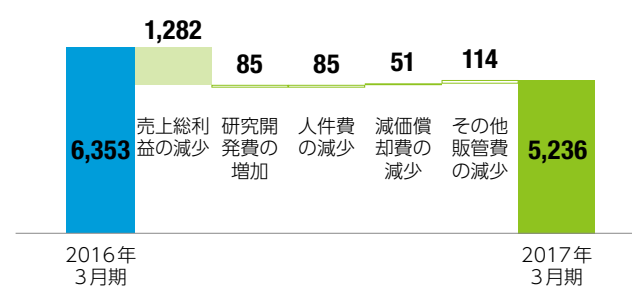
営業利益



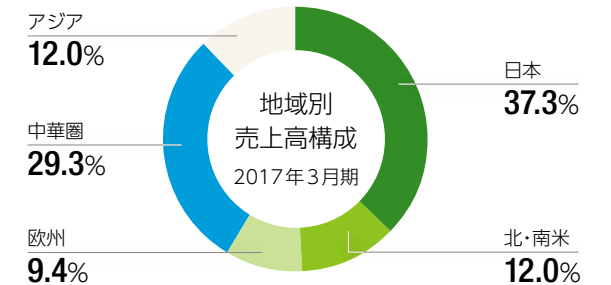
親会社株主に帰属する当期純利益



営業利益変動要因



地域別の売上高構成



※ 2017年12月期は9か月の変則決算となります。

Q.4 2017年12月期の重点的取り組みについて教えてください。

工作機械事業については、全世界における高精度機需要を的確に把握し、市場ニーズにあった製品群を提供することによりマーケットシェアを高めてまいります。

産業機械事業は、国内における射出成形機のマーケットシェアを引き上げるため、市場ニーズの高い全電動射出成形機の販売を強化してまいります。中小型機のラインナップを拡充し、全電動射出成形機市場における地位を確立します。また、海外販売高比率70%以上を達成すべく、ニーズを積極的に取り込み、海外販売台数拡大を目指してまいります。

食品機械事業については、国内ではより高品質な麺の製造を目的とした設備需要が引き続き見込まれているほか、海外からもロングライフ麺や冷凍麺製造設備の需要が見込まれております。また、製菓業界や包装米飯・包装惣菜業界等、製麺業界以外からのニーズを開拓し、需要先の拡大に取り組みます。

金属3Dプリンタについては、昨年末の中華圏・アジア向けの輸出認可を受け、全世界における営業活動を本格化していきます。前期にリリースした金属3Dプリンタ金型専用射出成形機「MR30」を併せて展開することにより、プラスチック金型成形市場でのプレゼンスを高めてまいります。

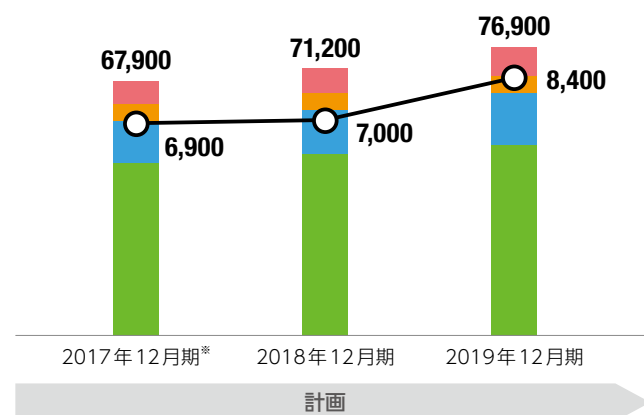
また、放電加工機、射出成形機共に高水準の受注に対応するため、全世界における生産体制の再構築を進めてまいります。

Q.5 中期経営計画の目標と戦略について教えてください。

グループ製品による一貫したソリューションを提供することにより、金属3Dプリンタを成長ドライバーに既存事業（放電加工機、射出成形機）を相乗的に成長させます。また、金属3Dプリンタの金属粉末のラインナップ拡充により、次世代自動車、航空宇宙、医療機器などの高付加価値部品の加工まで裾野を広げ、精密金属3Dプリンタのトップ企業を目指します。食品機械事業では、麺の品質や食感、安全性、自動化技術などについての研究開発を進めてまいります。

中期計画 (単位:百万円)

売上高 | ■ その他 ■ 食品機械 ■ 産業機械 ■ 工作機械
○ 営業利益



* 2017年12月期は、比較参考のため2017年1月～12月の1年間に換算した数値を表記しています。

Q.6 株主還元について教えてください。

当社は成長投資と財務体質強化のバランスを見極めつつ、DOE（株主資本配当率）2%以上を目標とした安定的かつ継続的な配当を基本方針として、株主還元を実施しています。2017年3月期は、1株当たり年間19円の配当とさせていただきます。2017年12月期は、1株当たり年間20円とし1円の増配を計画しています。

決算期変更のお知らせ

当社は、2017年12月期より、決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更することとなりました。海外連結子会社と決算期を統一することで、更なる経営情報の適時的確な把握・開示を

進め、より迅速かつ適切な経営判断と事業戦略の遂行を実現するためです。これにより、決算期変更の経過期間となる2017年12月期は、2017年4月1日から2017年12月31日までの9か月決算となります。



TOPICS 展示会

来場者50,000人を超える大型展示会 台湾「第26回台北国際工作機械見本市(TIMTOS2017)」に出展

2017年3月7日から6日間、台湾(台北)にて開催された「第26回台北国際工作機械見本市 TIMTOS2017」に出展いたしました。台湾の展示会で“初出展”となる精密金属3DプリンタOPM250Lのほか、最新のリアモータ駆動 高速・高性能ワイヤ放電加工機や、精密で複雑な形状の成形で評価が高いV-LINE®方式の電動射出成形機などを出展。ものづくりの総合メーカーとして、来場者の方々にソリューションのワンストップソリューションを提案いたしました。



eV-LINE 射出成形機 MS100



リアモータ駆動 高速高性能ワイヤ放電加工機 AL400G